

## 点検・評価の結果

政府統計コード	00500210
基幹・一般の別(選択記入)	基幹統計調査
調査の名称	漁業センサス
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="radio"/> 重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="radio"/> 国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="radio"/> 月例経済報告に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計の作成に利用
	<input type="radio"/> 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="radio"/> その他(「水産の動向」における漁業構造等の分析資料等)
特記事項	

① 調査計画との整合性確保等の観点

調査計画との整合性 (整合している場合チェック)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1.調査の目的</li> <li>■ 2.調査対象の範囲 ※</li> <li>■ 3.報告者数等※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求める個人又は法人その他の団体(報告者)の数等 }</span></li> <li>■ 4.報告事項とその基準期日 ※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間 }</span></li> <li>■ 5.報告の方法 ※ <span style="font-size: small;">{ 報告を求めるために用いる方法 }</span></li> <li>■ 6.報告を求める期間 ※</li> <li>■ 7.集計事項 ※</li> <li>■ 8.結果の公表方法及び期日 ※ <span style="font-size: small;">{ 調査結果の公表の方法及び期日 }</span></li> <li>■ 9.使用する統計基準</li> <li>■ 10.調査票情報の保存 <span style="font-size: small;">{ 調査票情報の保存期間及び保存責任者 }</span></li> <li>■ 11.立入検査 <span style="font-size: small;">{ 基幹統計調査のみ }</span></li> </ul>	[ 一部不整合あり ]
-----------------------------	---	-------------

(注1)「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施

(注2) 不整合は生じていないものの、調査計画の改善を検討(予定)している事項がある場合はシート②で記載

点検・評価事項等 不整合の項目	調査計画との整合性		不整合が生じている場合の対応状況		
	不整合の概要 (該当項目に○を入力し、概要を記載。複数選択可能)		対応方法 (複数選択可能)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
6. 報告を求める期間※	○ 調査実施期間(始期・終期)	調査票の提出期限	○ 調査計画の変更申請 調査計画の軽微変更 業務マニュアルの整備充実 ○ 実施方法の見直し その他	対応済	次回調査から、地方自治体による調査においても調査員への説明や調査票の配布・回収等の完了日について、市町村から都道府県へ報告することを含め、その具体的な方法等の詳細を令和7年度中に検討する。
	調査の周期	その他			
特記事項(○をつけた項目の概要を記載してください) 一部の市町において調査の実施が遅れたため。					

② 統計の品質確保・向上を図るための統計作成プロセスの水準の段階的な向上の観点

業務マニュアル等の整備・共有の状況及び実際の業務の実施状況の確認等	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 課題なし</li> <li>■ 課題あり、見直し・改善を実施（予定含む）</li> <li>□ その他（例：課題精査中、課題はないが見直し・改善を実施（予定含む）等）</li> </ul>
-----------------------------------	---

	見直し・改善の概要（自由記入）	見直し・改善の内容（左記の類型） （該当するものを選択、複数選択可能）	見直し・改善の対応方法・手段 （複数選択可能）	対応状況 （選択記入）
記入欄 No. 1	2028年調査に向けた業務効率化の見直しとして、内水面漁業経営体調査及び冷凍・冷蔵、水産加工場調査の業務の民間委託化を検討し、それに伴う調査計画や業務マニュアル等の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の見直し・改善</li> <li>○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善</li> <li>品質の表示</li> <li>変更管理の実施</li> <li>遅延調査票への対応</li> <li>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</li> <li>DXの実施、データのデジタル化</li> <li>システムの要件・仕様の可視化</li> <li>プロセス診断結果の取り込み</li> <li>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の変更申請</li> <li>調査計画の軽微変更</li> <li>○ 業務マニュアルの整備・充実</li> <li>実施方法の見直し</li> <li>その他</li> </ul>	対応中/対応予定
記入欄 No. 2	「令和6年の地方からの提案等に関する対応方針」（令和6年12月閣議決定）において、漁業センサスについては、令和10年に実施予定の次回調査に向けて、前回調査の結果及び他の統計調査の取組を踏まえ、郵送配布方式の導入を含めた調査員の負担軽減及び担い手確保並びに情報漏えいリスクの軽減に資する方策並びにオンライン回答率の向上に資する方策について検討し、令和9年度までに結論を得よう、地方公共団体から提案があったところ。 このため、地方公共団体において調査を行っている海面漁業経営体調査について、次回2028年調査に向けて、調査員の負担軽減及び担い手確保並びに情報漏えいリスクの軽減に資する方策並びにオンライン回答率の向上に資する方策を検討し、調査計画や業務マニュアル等の見直しを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の見直し・改善</li> <li>○ 業務マニュアル等の整備・充実・改善</li> <li>品質の表示</li> <li>変更管理の実施</li> <li>遅延調査票への対応</li> <li>外部委託先からの意見や改善提案の聴取</li> <li>DXの実施、データのデジタル化</li> <li>システムの要件・仕様の可視化</li> <li>プロセス診断結果の取り込み</li> <li>その他プロセスの段階的な向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調査計画の変更申請</li> <li>調査計画の軽微変更</li> <li>○ 業務マニュアルの整備・充実</li> <li>実施方法の見直し</li> <li>その他</li> </ul>	対応中/対応予定

### ③ 必要な精度の確保・向上の観点

	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
	精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択(複数選択可)	目安としている指標の具体的な 設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている 指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
1 調査の実施目的を確保するための 精度管理の実施状況	達成精度	全数調査であるため、精度管理の指標は設定していない。 回答率は右記のとおり。	—	有効回答率 97.4% (2023年)	有効回答率 98.8% (2018年)	有効回答率 98.9% (2013年)
	回収率・回答率					
	回収調査票数					
	カバレッジ					
	その他					
	<input type="radio"/> 設定なし					